

モビリティで街を考える

未来の真駒内の移動可能性を探る
低炭素コミュニティ創造@真駒内に向けた
プレ・アクションプログラム

第1回

真駒内タウンミーティング

世代や障害の有無など垣根を超えた誰もが住みやすい低炭素コミュニティのあり方について考えるきっかけを作ります。

入場無料

8/26 土 16:00~18:00 定員 50名

会場

札幌市立大学 COC キャンパス 2階まちの講堂
札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2 まこまる内

タイムスケジュール

第1部
16:00~17:00

「ショップモビリティ*1と真駒内の可能性」

講師：蓮見孝（札幌市立大学学長）

*1裏面にショップモビリティについての解説があります

第2部
17:00~17:30

「真駒内エリアにおける
移動に関する意識調査の報告」

報告：北海道大学環境社会心理学研究室

お申し込み

NPO法人 エコモビリティサッポロ

TEL 011-788-5480

MAIL info@velotaxi-sapporo.jp

URL <http://velotaxi-sapporo.jp/>

お申し込み
締め切り

8/23 木



蓮見 孝

略歴

1948年神奈川県生まれ、東京教育大学卒。
博士（デザイン学）。

1971年日産自動車（株）入社、モデル課長、
エクステリアデザイン室代表主任等歴
任、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート
社命留学。

1991年筑波大学に転籍、芸術系教授。
芸術専門学群副学群長、広報戦略室長、
学長補佐等歴任。

2012年から札幌市立大学学長。



このイベントは独立行政法人環境保全機構
地球環境基金の助成を受けて開催しています

協力 札幌市立大学



ショップモビリティについて

イギリスでは、1970年代以降不況や郊外型大型店舗の増加などにより、地域商店街の荒廃が顕著になりました。その解決策として実践されたのが、TCM(タウンセンターマネジメント)というしくみです。多くの人々が協力して中心市街地を活性化させようと動き始めたのです。「ショップモビリティ (Shopmobility)」は、その活動の一環として1979年に始まった社会支援のプログラムで、「障がい、高齢、病気、怪我などで歩行に困難のある人に、電動スクーターや車いすなどを貸し出す社会サービス」は、イギリス全土に広がりました。

「外出・移動」は、あらゆる人にとって社会生活を営む基盤的行動であり、現在の公共交通システムや自家用車等に加え、さらにきめ細かい支援システムの構築が求められます。世界各国で普及し始めているレンタサイクルもその一つといえるでしょう。

公園や大学などが点在する魅力的な郊外のまち真駒内で、みんなが「1日に1度は出てきたくなるようなまちづくり・モビリティの先進地域づくり」に取り組んでいきましょう。

蓮見孝 2017.8.2 記

memo